

# 理 事 長 所 信



2021年度（第七年度）

一般社団法人 北名古屋青年会議所



## 峰 雪 真 行

昭和61年8月22日

峰丸工業株式会社 代表取締役社長

愛知県立 岩倉総合高等学校卒業

### 【経歴】（法人格省略）

2016年度	北名古屋青年会議所		[入会]
	北名古屋青年会議所	自然共生まちづくり委員会	[委員]
2017年度	北名古屋青年会議所	愛市精神溢れるまちづくり委員会	[委員長]
2018年度	北名古屋青年会議所		[副理事長]
2019年度	北名古屋青年会議所		[副理事長兼専務理事]
2020年度	北名古屋青年会議所		[無任所理事]
	愛知ブロック協議会	ブロックアカデミー委員会	[副委員長]
2021年度	北名古屋青年会議所		[理事長]

# 「勇往邁進」

## ～未来を切り開く～

### 【はじめに】

この街には縄文時代の堤下遺跡などがあり、鎌倉時代の寺社建築物も残っている。昭和日常博物館や旧加藤家住宅など近代の歴史も大切にしている。幹線道路沿いには様々なオブジェが飾られており、街のあちらこちらから文化の薫り漂ってくる。

程よく自然も残っていて住みやすい。名古屋駅から約10分。高速道路や幹線道路が何本も整備され車のアクセスも良い。

そして、英知を結集し、この街を創ってくださった先人の方々への感謝の念に堪えないのである。

道を歩けば、挨拶をしてくれるこのハートフルな街を、私は愛して止まない。

### 序

我々が活動する北名古屋青年会議所の礎を記す。

#### 創立宣言文

滾る情熱を持った意気溢れる若き力こそ、幾多の苦難を乗り越え更なる指針を標榜する我が国の正しき発展に寄与する事ができる唯一の力である。後世への架け橋として自らの知性と徳性の研鑽に努め、青年としての重責を全うすべく進取果敢に邁進し、明るい豊かな社会の実現、そして恒久的な世界平和の実現を企図し、志操堅固な信条を胸に敢然たる想いで、無二の同志と共に此処に「北名古屋青年会議所」の創立を宣言する。

初代理事長 小山 雅也

### 【青年経済人として】

一時代前、多くの国が更なる物質的な豊かさを求め、植民地支配による外需の獲得や資源の獲得などに走った時代がある。そして起こった戦争は、多くの悲しみを生み、傷跡を残した。

この物質的な豊かさを求めた戦争を繰り返さない為に、国や地域の垣根を越えて資源（お金・モノ・人材・情報など）をやり取りできる仕組みがグローバル社会であり自由経済である。そのグローバル社会も変革の時を迎えている。2つの大国が世界の経済圏の覇権を争い、自国に近い国々を巻き込みながら対立を深めている。並行して、規制緩和などが相対自由な経済活動により、土地、資源や企業などを買収し、富める者が更なる富を築き、これまでに無い程の貧富の差が国内外で生まれている。

これらの背景には2000年に謳われたIT革命、つまり通信技術の向上により、売買、広告、メールや携帯電話の普及、地デジの普及など、甚だ便利になり、新しい悦楽を生み出した功罪とも言えよう。

現代には人工知能の普及をはじめ、加速度的にハイテク化が突き進んでいる。これからの生活の変容が想像もできず、便利が何をもたらすのか、危惧せずにはいられない。

また更に恐ろしいことには、基軸通貨有し、GDPの大半を内需で成長続けてきた日本の在り方が今後、通用しない可能性を孕んでいることである。

我々は目まぐるしく変わる世の中を、適切に捉えるリテラシーを育み、課題を見出し解決していく術を今まで以上に向上させる必要があるのではないだろうか。

「生き残る種とは、最も強いものではない。

最も知的なものでもない。

それは、変化に最も適応したものである。」

(チャールズ・ダーウィン)

### 【地域住民主導型の街へ向けて】

北名古屋市は行政が中心となり健康快適都市を目指し、待機児童ゼロ施策や児童館・児童クラブの拡充、18歳未満の医療費無償化、保育園・幼稚園の一定額無償化、地域コミュニティを育み子供たちの遊び場とした「五条川プロムナード整備計画」など、多くの施策のおかげで、国内では本格的な人口減少が謳われる中、堅調に人口増加を続けてきた。

一方、高齢者率は毎年上昇を続けている。2021年度には遂に人口減少を向かえる可能性が生じてきている。このことを、当たり前のことで何事でもないように捉える方々が大勢いるように思えてならない。

高齢者率が上がり、生産人口率が下がれば財源は当然減少していく。言うまでもなく、これまで享受していた、市の標榜でもある「健康で生きがいを持って暮らせるまち」、「豊かな学びと心を育み文化の薫るまち」、「安全・安心で環境にやさしいまち」、「快適で利便性の高いまち」、「魅力的で活力あるまち」、といった美しい街の姿は少しずつ霧中に消えいくのである。

それではいけない。

しかし、誰もが忙しい時代の中で、自分や家族のこと、仕事のことで精一杯である。

では、どうすれば街の憂いについて市民に関心を持ってもらえるのが問題となる。

私が思うに、人は自分の興味のあることに関心を示す。子供は小川に泳ぐメダカに関心を持ち、母親はスーパーの野菜の価格に関心を持ち、父親は家族を養う為に仕事に関心を持ち、高齢者は健康のことに関心を持つ。また、法人は業績と従業員の幸福や、顧客の幸福に関心を抱く。当然それぞれに万別の関心があるのだ。住まう北名古屋市には田畑が広がり小川が流れ、大型ショッピング施設も点在している。医療機関も充実し、多くの企業もある。他にも文化財や地域に根付いた風土や芸術など多くの関心の種となる可能性を秘めた資産たくさんあるのだ。

地域経済の活性化を図る為に関心を魅力に変え「若い世代を中心に、定住したくなる街づくり」をしていかなければならない。更には産学官民の協働を図り、多くの人々の英知を結集し、地域住民が主導する明るい豊かな社会を目指し続ける必要がある。

### 【成長と会員拡大について】

青年会議所は、個人としては自己成長を目的とし、組織としては明るい豊かな社会の実現を最大のテーマとしている。

メンバー同士が若き情熱を胸に意見を交し合う。自分にはない能力や価値観の折り合いから、個人の心は磨かれる。更には毎年、皆が新しい役割を担う。効率的な成果を生み出すことだけが目的なら、同じメンバーが慣れた役割を担った方がよい。不慣れな役割を担うことで自己を研鑽し成長するのだ。そして、個人の成長に伴い組織も成長していくのである。

青年会議所は20歳から入会資格を有し、40歳を定年に卒業する。これは真摯な情熱を結集し、社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからである。

精力的な運動を発信していく為には、豊富な人材を迎え入れることが必要不可欠である。

しかし、北名古屋青年会議所はじめ、全国692箇所に存在する青年会議所の会員数は減少を続けている。少子化の影響なのか、若い世代の価値観が青年会議所の意義と相まみいれないのかよく分からない。

しかし、私は思う。これまでの我々の運動が十分に理解を得られていないのだと。自分の住む街の、自分が親しくする人の幸福を願わない人はいない。

ありとあらゆる課題の解決を目指す青年会議所には無限の可能性がある。

### 【最後に】

終戦間もない1950年に東京・大阪と並んで、名古屋の地に「日本経済の正しき発展と世界平和の実現にいささかなりとも寄与する処あらんと企図する」と発し、名古屋青年会議所が誕生した。

戦争の傷を背負ったうえ、何もなく、未来予想が不安定の中、先人たちの将来を描く情熱と実行力には、我々の想像を絶するものがある。

この精神を引継ぎ、剛毅果断をスローガンに北名古屋青年会議所は2015年に誕生した。

ハイテク化により、未だかつてない速さで世の中の構造変化が起きている現在ではあるが、「北名古屋市がより明るく、豊かな社会」に近づくよう勇往邁進していきたい。

また、今日までご支援とご協力を賜った、公益社団法人名古屋青年会議所をはじめ、各地青年会議所。そして、そのメンバー諸氏、先輩諸兄。地域の行政、各種団体の皆様のご支援とご協力のおかげで活動できることを心から感謝します。

